

がん医療フォーラム出雲 2017



開催日程 2017年 **7月23日(日)**
14時～16時30分(開場13時30分)

会場 出雲市役所 1階
くにびき大ホール
(島根県出雲市今市町70)

対象

- がんの患者さんの在宅での療養支援について関心のある一般の方
- がん患者さんのご家族
- 医療従事者、介護福祉関係者、行政担当者 など

参加方法 事前申し込みが必要 **参加費無料**
FAX、ウェブフォームまたははがきにてお申し込みください。
申し込み方法の詳細は裏面を参照してください。

定員 **200名** 定員を超過した場合、お申し込みをお断りする場合があります
申し込み期限 7月7日(金)

プログラム

開会あいさつ 出雲市副市長 伊藤 功
総司会 今田 敏宏 (島根県立中央病院総合診療科部長 緩和ケアチームリーダー)

第1部 基調講演

渡邊 清高 (帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科) [東京都板橋区]

「がん患者さんを支える情報づくりと地域づくり」

河原 正典 (爽秋会岡部医院) [宮城県名取市]

「在宅緩和ケアの現場から 仙台での取り組み」

花田 梢 (すぎうら医院 在宅診療部 副部長)

「出雲市の在宅医療の現場から」

第2部 ディスカッション

モデレータ 渡邊 清高

森口 修三 (出雲市健康福祉部 医療介護連携課長)

「出雲市の在宅医療推進に向けた取り組み」

山崎 順子 (在宅看取りを経験した遺族)

「在宅看取りを経験して」

パネリスト 花田 梢、河原 正典、今田 敏宏、山崎 順子、森口 修三、
加藤 典子 (島根県立大学出雲キャンパス 在宅看護論 講師 前訪問看護ステーションやすらぎ所長)



がん患者と家族を支える
在宅療養について考える

「がんになっても住み慣れた場所で最期まで過ごすことのできる仕組みづくり」の実現に向けて、出雲地域での在宅療養の実際を知っていただき、療養する患者さんのご家族を支える情報の共有と連携の必要性について考えます。

共 催: 出雲いのちをみつめる市民の会、地域におけるがん患者の緩和ケアと療養支援情報 普及と活用プロジェクト

特別後援: 出雲市、島根県立大学出雲キャンパス、公益財団法人正力厚生会、読売新聞社

後 援: 島根県、島根県教育委員会、出雲市教育委員会、島根日日新聞社、エフエムいずも、「いのちの輝きを考える日」実行委員会、

島根県医師会、出雲医師会、島根県立中央病院、島根大学医学部附属病院、出雲保健所、山陰中央新報社、すぎうら医院、斐川中央クリニック